



## 三井化学（株）名古屋工場工場運営方針

当工場は、1950年にビニルフィルム製造から操業を開始した工場であり、樹脂加工技術と重合技術を活かした三井化学グループのICT・加工品中核拠点として、競争力のある製品を開発・製造することで社会課題を持続的に解決することを使命としています。

工場で働くすべての者は、三井化学グループの企業理念、将来像並びに長期経営計画VISION2030に基づき、お客様重視とともに、工場の安全・安定運転に努め、労働安全衛生、保安防災、環境保全、品質保証に係わるリスクの継続的低減と予防を図り、製品品質の確保、法令ルールの遵守を工場運営の基盤として以下の活動に取り組みます。

活動目的および目標を予算書・年間計画書に定め、進捗管理、内部監査、定期的な見直し等の自主活動により工場運営に係る諸マネジメントシステムの継続的な改善を推進します。

- 自律的な安全基盤の構築と維持・向上及び、安全を作れる組織文化の醸成に努め、『事故・異常現象ゼロ、重大労災ゼロ』に取り組みます。
- 高度化技術の導入やQFD活用により、設備・運転トラブル予防、品質管理の強化に努め、更なる『安定運転の確保』に取り組みます。
- プロセス保証への転換や工場固定費圧縮などによる拠点機能強化と事業と連携した拠点・技術の最適化に努め、更なる『競争力の強化』に取り組みます。
- 大規模地震、津波等のマニュアル整備と地域連携に努め、『BCP対応』に取り組みます。
- 多能工化とリリーフマン制度確立による技術伝承を加速し、女性活躍に向けた仕組みの構築にも努め、『生産・技術戦略遂行に必要な人材確保』に取り組みます。
- 法令・ルール、ハラスメント教育による遵法精神の向上に努め、『コンプライアンス違反ゼロ』に取り組みます。
- GHG削減計画の実行、産業廃棄物削減に努め、『環境負荷低減』に取り組みます。
- 生活習慣病有所見率低減や敷地内全面禁煙に向けた取り組みに努め、更なる『健康重視経営』に取り組みます。

この方針は、三井化学(株)名古屋工場並びに工場内に立地する関係会社の全従業員に周知すると共に、広報や地域社会との交流等を通じて、地域に根ざした活動の推進に活かします。

2024年4月1日

三井化学株式会社名古屋工場

理事 名古屋工場長

志岐哲也